

身延・南部地区中高連携事業

# 中高連携通信

南部中学校／身延中学校／身延高校

中学校・高校・地域。  
新しい視点で教育を捉える！

身延・南部から  
日本へ発信！



新しい視点から

次の世代を育てる！

## 連携の教育理念・教育目標

### ◎教育理念

6年間を通して確かな学力と豊かな人間性を育み、地域と協働して『キャリア教育』を進め、次代を担う人材を育成する。

### ○教育目標

#### 学力の向上

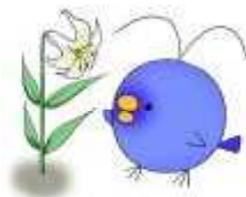
計画的・継続的な教育を展開し、自主的・創造的な学習態度を育成する。

#### 豊かな人間性の育成

豊かな心を育み、社会性やコミュニケーション能力の伸長を図る。

#### 地域との協働

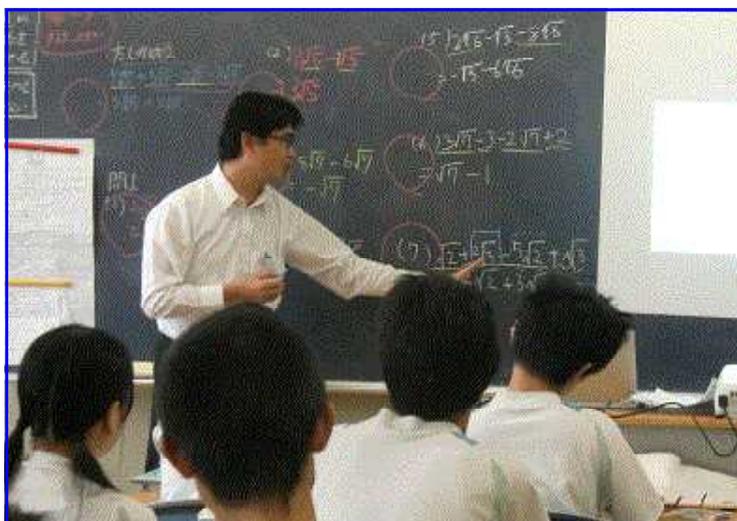
地域への理解を深め、主体的に地域社会の形成に参画する態度を養う。



平成28年7月  
身延高等学校

<http://www.minobu.kai.ed.jp>

# 平成28年度 中高連携スタート！



## 授業アシストでギャップを解消

昨年度は、高校の先生が中学校の数学と英語で授業アシストをしました。今年度は、これに加えて、中学校の先生が高校の数学と英語で授業アシストをしています。このように、中学校と高校は「相互授業アシスト」を行っています。

中学校と高校では、学習スタイルが大きく異なります。高校では授業の進む速さが速くなり、内容もより理論的になります。先生の説明が長くなることもあります。数学では、答えを求めるための手立てを考えることがこれまで以上に重要になります。英語は、リーディング・ライティング・リスニングの分量が1.5倍～2倍くらいに増えます。また、覚える単語も2倍になります。

中学校より質・量ともにレベルアップした授業内容を吸収できず、思うような進路を歩めない高校一年生が多くなります。「相互授業アシスト」は、中学3年生から高校1年生へとスムーズに接続できるように考えた方法で、授業の質的・量的な差を特に感じる数学と英語で生徒をサポートしています。

## 高校授業アシストの目的は？

中学校の学習内容を念頭に置き、高校の学習をその発展的学習と位置づけ、学習を支援します。

また、高校の授業と中学3年の授業をよく知ったそれぞれの先生が連携して教えることで、ギャップを小さくします。

## 中学校授業アシストの目的は？

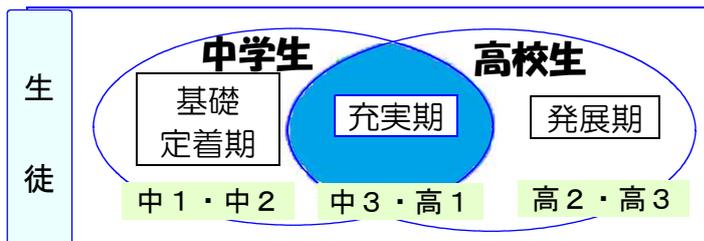
中学校の学習内容のその先を紹介（高校ではこんな方法で解く等）することで、学習に対する興味・関心を喚起します。また、英作文の作り方や英単語の覚え方など、高校入試や高校生になってから役立つ視点でサポートします。

## 学力の向上に関する連携イメージ



授業力の向上  
(相互授業アシスト)  
(サマーセミナー)  
(相互授業参観)

生徒理解  
経験・ノウハウ



中学校、高校の6年間で基礎定着期（中1・2）、充実期（中3・高1）、発展期（高2・3）の3つのステージに分け、充実期（中3・高1）を中心に、中学校と高校の教員が連携して、生徒の学習状況や定着度を把握し、教材開発をはじめ指導方法の研究を行い、それぞれのステージにおいて学力の向上を目指します。

◆ 相互授業アシストは、「高一ギャップ・高ークライシス」に対応するためです。

◆ 相互授業アシストを中心に12事業をおこなっています。

## 中一ギャップ・高ークライシス

中学校に入ると突然学習が難しくなったという人がいます。

小学校の時のテストは90点以上が当たり前だったのに、中学に入ると70点以上がなかかとれないということがよくあるからです。周りの仲間はほとんど変わらないので、相対的な順位は変わらなくても、点数がなかなかとれなくなる人がいます。原因として、教科担任制になり、授業の進め方に戸惑ったり、外国語活動が英語に、算数が数学になるように、教科の学習内容のレベルが上がったりするからということが考えられます。もう一つの原因として考えられることは、テストの形式が小さな単元の復習として行う確認テスト的な内容から、複数の単元をまたいだ範囲の広い中間テスト・期末テスト、さらにもっと広い範囲の領域確認テストのようなテストになるからです。範囲が広がると、きちんと学習内容が頭に整理され、定着していないと点数はとれません。毎日の繰り返しの復習やテスト前の確認がきちんとできないと、思うような結果が出ず、学習面でやる気を失う人も現れてしまいます。生活面での不適応や不登校を含めてこのような問題を「中一ギャップ」と呼ぶことがあります。

これが、高校生になるともっと残酷です。高校入学直後は中学の復習なので授業がよく分かります。しかし、高校の学習内容になったとたん、授業が難しくなります。それを理解するための学習時間はこれまで以上に必要です。しかし、部活動では体力面で上級生に劣るので、追いつくために苦しい毎日が続きます。学習に手が回らないことが多く、夏休み明けのテストでは40点になることもあります。遠距離通学も一つの原因です。

例えば数学では、シグマ、サイン、コサイン、対数の様なイメージしにくい抽象的な概念が次から次へと出てきて、表面的な計算テクニックだけの理解では、何のためにやっているのが理解できません。そこに、遠距離通学や部活動での体力不足が追い打ちをかけます。「中学の時、もっとたくさん勉強しておけばよかった。そうすりゃ高校でわけわかんない概念が山ほど出てきたとき、ゆっくり丁寧に勉強する時間ができたのに。」と後悔する人もいます。

人によっては、高一ギャップ(大きなズレ)と言うより高ークライシス(重大な危機)で、描いた夢が叶わない夢になっていることもあります。

## 中学&高校・相互授業参観

6月第3週に身延中学校・南部中学校・身延高校の3校で、先生たちが授業を公開し、お互いの授業の方法を勉強しました。互いの授業の良いところを吸収するだけでなく、中学校の授業の仕方、高校の授業の仕方を知って、中学校と高校の間でズレのない学びの形態を目指しています。

## 本年度の12事業

学力の向上

豊かな人間性の育成

地域との協働

### ①中学校授業アシスト(通年)

高校の先生が、中学校の授業のアシストに行きます。南部中は火曜日、身延中は木曜日です。

### ②高校授業アシスト(通年)

中学校の先生が、高校の授業のアシストに行きます。月曜日と水曜日です。身延高校に進学すると、授業のスピードと難易度が、1年生から大きく変わる数学と英語でアシストします。

### ③活動合同練習(通年)

陸上競技部・バレーボール部・ソフトテニス部・バスケットボール部・柔道部・吹奏楽部で活動します。

### ④三校合同研修会(6月)

6月3日(金)に先生たちが、中高連携事業の目的と目標について意思統一を図る研修会をします。

### ⑤サマーセミナー(8月)

8月1~3日に身延高校で、高校受験(国語・数学・英語・理科)の対策学習会を行います。

### ⑥防災サマーキャンプ(8月)

8月4~5日に身延高校で、南海トラフ沿いの巨大災害を想定した防災学習を1泊2日で行います。減多に学べない、「生き延びるため」の最先端防災学習です。

### ⑦演劇指導(9月)

中学校の学園祭の演劇に、身延高校演劇部の先生と生徒が指導に伺います。せっかくの機会なので、中学生は、完成度の高い演劇を目指しましょう。

### ⑧ライフミュージアム2016(10月)

学校を[博物館]に見立てて10月6日(木)~12日(水)に一般に公開します。昨年は、身延中学校も出展しました。

### ⑨小中高ボランティア活動(11月)

小学生と活動をともし、公共の精神・郷土愛・地域の一員としての自覚などの「豊かな人間性」を育みましょう。

### ⑩総合学科発表会(2月)

身延高校の1年から3年の生徒が、キャリア教育の成果を発表します。身延高校での学習を理解する機会です。

### ⑪相互授業参観(年3回)

高校・中学校の先生が、互いの授業を参観して、生徒の指導方法を研究します。

### ⑫情報発信(不定期)

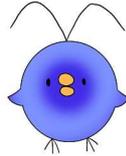
中学生に向けて、中高連携事業の内容を公開していきます。中学生の皆さんが、何を、何のために連携して学習しているのかを報告します。

# 8月の連携事業

## サマーセミナー（8月1～3日）

今年で3回目になります。8月1日(月)から3日間、9時から15時までの6時間を身延高校で学習します。高校入試に向けた取り組みとして、高校での授業形態になれるため、休み中の学習習慣を維持するためなど、活用方法は様々です。

時 間	基礎	応用
1校時 09:20～10:10	国語	英語
2校時 10:40～11:30	数学	国語
3校時 12:00～12:50	英語	数学
4校時 14:00～14:50	理科	



▲ 昨年のサマーセミナー(理科)の様子

## 防災サマーキャンプ（8月4～5日）

身延高校では恒例行事となる、夏休み1泊2日で学校に宿泊する防災学習会です。今年は、5年ぶりに「アジア防災センター元所長の『小川雄二郎』先生」が主任講師です。

南海トラフ地震とはどんな地震なのか？また、それに伴う巨大災害について学習します。震災時には、身のまわりの何気ない施設・設備が私たちが苦しめます。どのような準備が必要なのかを学習しましょう。

活動が中心なので、退屈はしません。これまでになかった新しい防災学習です。



▲ 昨年のサマーキャンプの様子



## 年間計画について

既に授業アシストと相互授業参観は始まっています。これからは、部活動合同練習が始まります。顧問の先生たちは、いつどの様に活動していくのかを検討しています。中学生と高校生が関わり合うことで、技術面だけでなく精神面や心構えのレベルアップが図れます。

7月は、サマーセミナーと防災サマーキャンプの募集期間です。積極的に参加してください。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
	⑩総合学科発表会 ⑪相互授業参観			⑨小中高ボランティア	⑧ライブミュージアム ⑪相互授業参観	⑦演劇指導	⑤サマーセミナー ⑥防災サマーキャンプ		④三校合同研修会 ⑪相互授業参観 ③部活動合同練習開始	①中学校授業アシスト開始 ②高校授業アシスト開始	年間計画作成

■ 年間行事予定

